



(1,500円)

実用新案登録願 (B) 後記号なし

昭和47年3月8日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1. 考 案 の 名 称 ^{フリガナ}乾電池を用いた燭火
2. 考 案 者
^{フリガナ}住所 ^{フリガナ}氏名 東京都港区新橋5丁目36番11号
 富士電気化学株式会社 内
 土 田 敬 (ほか3名)
3. 実用新案登録出願人
^{フリガナ}住所 ^{フリガナ}氏名 (国籍) 東京都港区新橋5丁目36番11号
 富士電気化学株式会社
 代表取締役 杉 田 忠 嗣 郎
4. 代 理 人 〒104
 住 所 東京都中央区銀座8丁目12番15号
 全 国 燃 料 会 館 ~~412号室~~ 709号室
 氏 名 (6704) 井理士 尾 股 邦 雄 (ほか1名)
 電話東京03(543)0036番(代表) 印 式 簿 記
5. 添付書類の目録

(1)	明 細 書	1	通
(2)	図 面	1	通
(3)	願書副本	1	通
(4)	委 任 状	1	通

48-106181-01

47 028407

公開実用 昭和48-106181

明 細 書

1 考案の名称

乾電池を用いた燭火

2 実用新案請求の範囲

電池ケース1の下端をカールし、底板3を内部に配置し、その上にソケット7と電氣的に結線した乾電池4を挿入し、電池ケース1上部をカールした後燭火に似せたガラス球を有する豆電球6をソケット7に装着するか又は透明ガラス球の豆電球6をソケット7に装着し、蠟燭に似せたホヤ2をかぶせた乾電池を用いた燭火。

3 考案の詳細な説明

本考案は、災害時又は停電時、寺院等の読経、燈籠流し等に使われる蠟燭の代りに乾電池と豆電球を組合せて取扱いが簡便で火災等に対して安全な燭火に関するものである。

従来、この種の蠟燭は脂肪酸と高級アルコールのエステルを主成分とし、中心に綿の芯を入れて円柱形にしたものが販売され使用されてきた。

48-106181-02

図1に示す如くは、マッチ等で芯に点火して火災がおこらないように固定して使用する必要があり、また風が吹けば消えるという欠点を有しているため、使用時には細心の注意をする必要があつた。また夏の高温時期には蠟が軟かくなり保存中に変形するという欠点も有していた。

本考案は以上のような欠点を除去した乾電池を用いた燭火に關するもので、取扱いが簡便で火災等に対して安全な燭火を提供することを目的とする。

以下本考案の一実施例を説明する。

図1図は、樹脂、紙材、金屬で形成した電池ケース1と燭燭の炎に似せた樹脂又はガラス製のホヤ2をかぶせた乾電池を電源とした燭火の正面図である。図2図において、電池ケース1は筒状のものの下端をカールし燭台に立てるため発泡スチロール及び紙材からなる底板3を配置し、その上に1個又は複数個の乾電池4をリード線又は導板で電気的に結線5して挿入し、結線されたリード線又は導板を豆電球6のソケット

ット 7 に半田付けし、ソケットと共に電池ケース上端をカールする。

豆電球の形式によつてソケットの形状はネジ込み形、差し込み形の両者が採用できる。別に燭火に似せた形状及び彩色をほどこした樹脂製、ガラス製のホヤ 2 を電池ケース上部に嵌合させる。使用に際しては豆電球のソケット 7 に定格の豆電球 6 をネジ込むか又は差し込んで点灯し、ホヤ 2 をかぶせて燭台に立てる。消灯に際してはホヤ 2 を外し豆電球 6 を取り外すか、ゆるめて電氣的接続を切断することが可能である。

なお、燭火に似せたホヤを豆電球にかぶせる代りに燭火に似せたガラス球を有する豆電球を使用して燭火の感じをだしてもよい。

以上の説明から明らかなように本考案は、乾電池を電源とし豆電球を点灯しているため、従来の蠟燭のような火災等の心配はなく、安全な燭火を提供するものであり、また風によつて消えるとか水分等によつて消えるということもな

い。豆電球のガラス球及び豆電球にかぶさつて
いるホヤの形状、彩色を適当に変えることによ
つて災害時の非常灯、停電時の照明に使用でき
、また寺院等の脱経、燈籠流しの蠟燭の代用に
できる等実用的価値の大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

才 1 図は本考案の乾電池を用いた燭火の正面
図、才 2 図は断面図である。

1 … 電池ケース、2 … ホヤ、3 … 底板、4 …
電池、5 … 結線を示す、6 … 豆電球、7 … ソケ
ット。

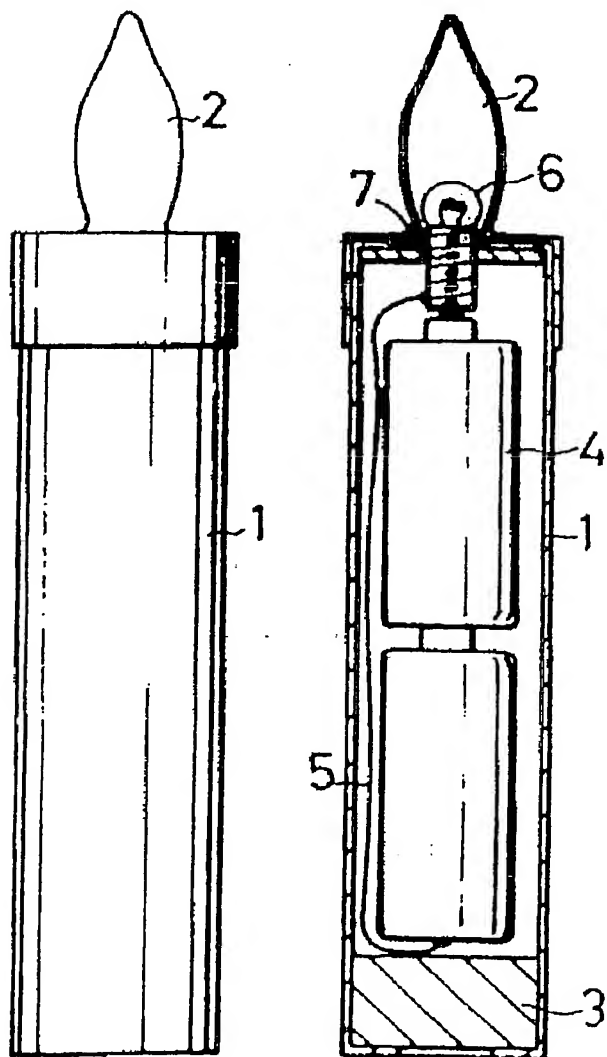
実用新案登録出願人 富士電気化学株式会社

代 理 人 尾 股 行 雄

代 理 人 荒 木 友 之 助

第 1 図

第 2 図



實用新案登録出願人

48-106181-06

富士電気化学株式会社

代理人 尾 股 行 雄

代理人 荒木友之助

6. 前記以外の考案者、代理人

(1) 考 案 者

住所 東京都港区新橋5丁目36番11号
富士電気化学株式会社 内

氏名 草 瀬 善 章

住所 同 所

氏名 岡 島 幸 雄

住所 同 所

氏名 山 本 浩 平

(2) 代 理 人

住所 東京都中央区銀座8丁目12番15号
全国燃料会館 709号室

氏名 (5664) 弁理士 荒 木 友 之 助

THIS PAGE BLANK (USPTO)